

令和5年度 第2回いわき湯本温泉ブランド化作戦会議



- 1 開会
- 2 座長あいさつ
- 3 事務局説明
 - 3-1 前回（第1回）作戦会議のふりかえり
 - 3-2 作戦会議からの提案への対応状況
- 4 作戦
 - 4-1 公共空間整備に関するレビュー [3件]
 - 4-2 必要な取り組みに関する意見交換
- 5 閉会



2023年9月29日（金） 14：00～16：00
いわき湯本温泉旅館協同組合 2階 会議室





3 事務局説明

3-1 前回（第1回）作戦会議のふりかえり

3-2 作戦会議からの提案への対応状況





3-1 前回（第1回）作戦会議のふりかえり



(1) 令和5年度の本会議の役割りを確認

2022.10～2023.4

ブランド戦略として、「新・いわき湯本温泉まちづくりビジョンブック」を作成

今後はビジョンの実現に向けて、

- ① → 必要に応じて、まちづくりビジョンブックを改訂
- ② → ビジョンブック等を指針に、公共空間の考え方・デザイン等への助言及び提言（レビュー制度の導入）
- ③ → その他、必要な取り組み（不足している取り組み）などについて提案

(2) レビュー制度の概要

- 常磐地区の市街地再生整備に関連して整備する公共空間※の考え方やデザインのコントロールを目的に、各プロジェクトの計画段階（設計前の検討）、デザイン決定段階（基本設計）、実施段階（実施設計、工事着手前等）において、本作戦会議委員からの助言・提言を取り入れながらプロジェクト推進を図るもの。
※ 公共空間には公共施設及び公民連携事業による民間収益施設を含む
- 各プロジェクトは、レビュー結果を最大反映し、利害関係者との協議結果やコスト等の視点を踏まえて実施する。



3-1 前回（第1回）作戦会議のふりかえり



(3) 事業全体のスケジュール（案）

- 湯本駅前交流拠点のオープンを、まちづくりビジョンブックに掲げた「2030年」を目標とした場合の事業全体ロードマップ（案）は以下（資料1）のとおり。
- 各プロジェクトの進捗にあわせてレビューを実施する。 **※取り扱い注意**

駅前エリア
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 湯本駅周辺土地区画整理事業 <ul style="list-style-type: none"> 【関連】急傾斜地対策事業 【関連】交流拠点エリア形成支援事業 ▶ 交流拠点施設（本体）整備事業 ▶ 交流拠点施設（駐車場）整備事業 ▶ 御幸山公園整備事業 ▶ 湯本駅前緑地広場整備事業
▶ 市営住宅（天王崎団地）跡地利活用事業
商店街・温泉街エリア
▶ にぎわい再生事業・観光地域づくり事業
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 魅力ある街並み－道路空間整備事業 空間整備事業 <ul style="list-style-type: none"> （街並み） －景観形成推進事業 ▶ 滞留拠点整備事業（支所跡地利活用） <ul style="list-style-type: none"> 【関連】既存施設解体事業 【関連】防災倉庫整備事業
公有地活用エリア
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公的不動産利活用事業（関船地区） <ul style="list-style-type: none"> 【関連】既存施設解体事業 【関連】周辺道路整備事業
全体調整・計画管理
県事業（無電柱化）
▶ 都市計画道路 白鳥藤原線整備事業

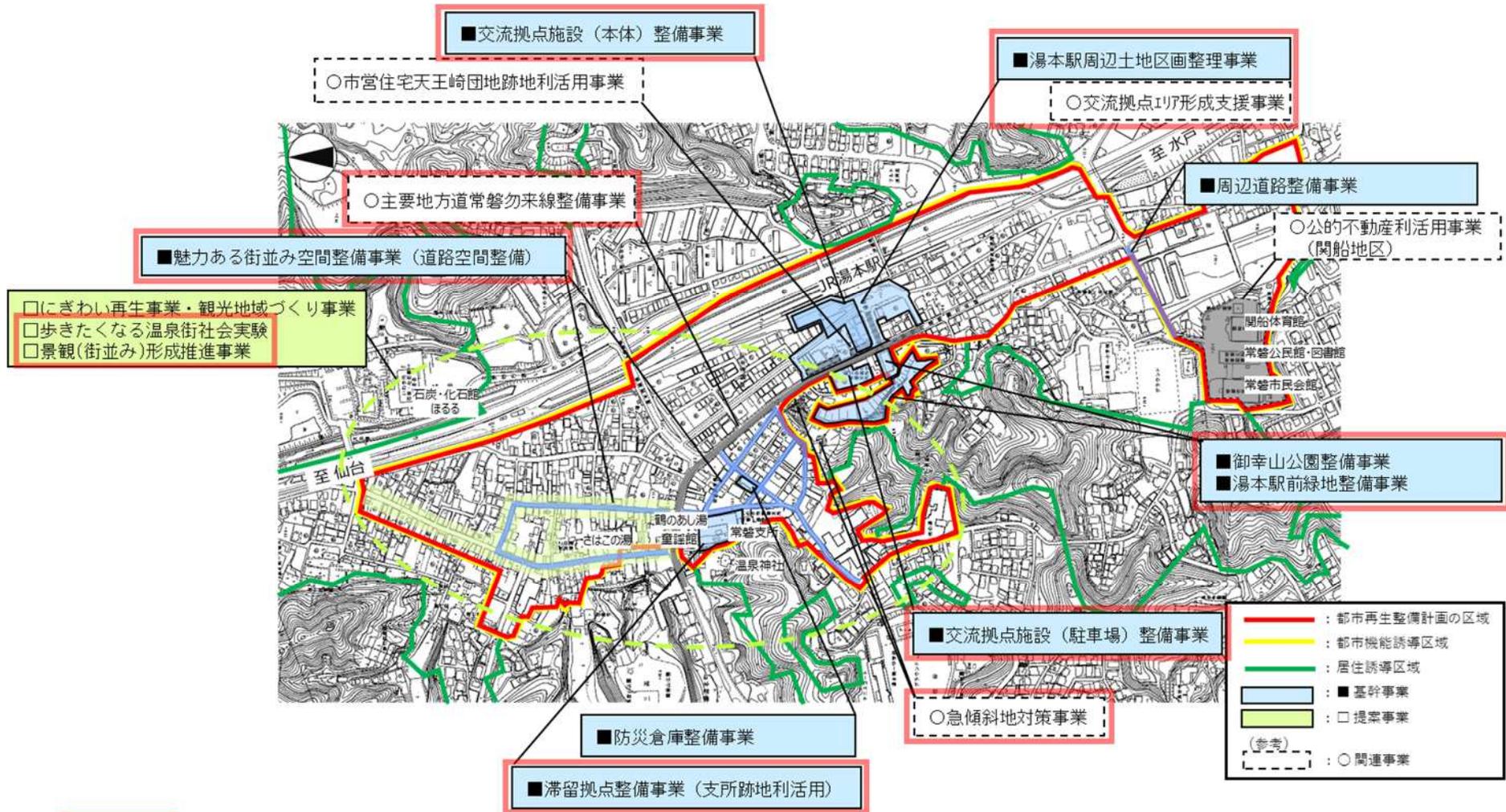

 レビュー対象の
 プロジェクト

非公開

注：ロードマップは、今後の関係者等協議により変更となりますので、本資料の取り扱いについてご注意ください。



3-1 前回（第1回）作戦会議のふりかえり



レビュー対象のプロジェクト

注：事業実施箇所は、今後の関係者等協議により変更となりますので、本資料の取り扱いについてご注意ください。

図 事業全体位置図（案）



3-2 作戦会議からの提案への対応状況



- (1) 急傾斜地法面調査設計への助言・提言 *都市整備課
- 法面对策工法に構造物工を採用した場合でも、法枠内の緑化等の検討が必要と考える。
 - 斜面の安全性を確保したうえで、法枠内の緑化等を実施することが可能か、今年度実施する測量設計委託において、工法の検討を行う。
 - 緑化の際は地元の植生に合わせた種子等の選定の検討が必要と考える。
 - 斜面の法枠内の緑化について、今年度実施する測量設計委託において、植生の種別等について検討を行う。
 - 緑化を行う場合は、維持管理の視点を持つことが必要と考える。
 - 当該の急傾斜地は、御幸山公園の区域の一部であることから、緑化等の検討にあたっては、公園施設を管理する公園緑地課と協議のうえ、工法を選定する。
 - 水の流れ（排水）に留意した検討が必要と考える。
 - 施行箇所の排水処理については、本年度実施の測量設計委託において、工法の検討を行う。
なお、御幸山公園全体の排水処理及び周辺道路側溝の排水処理については、公園施設を管理する公園緑地課及び道路施設を管理する常磐支所経済土木課と課題を共有し、対応を協議する。



3-2 作戦会議からの提案への対応状況



(1) 交流拠点施設整備への助言・提言

*創生推進課

- 温浴施設・図書館・公民館等、交流拠点施設に導入する機能については、それぞれにコンセプトブックのようなものが必要と考える。
 - 地域や利用者団体などとの対話を重ね、導入機能のイメージ・コンセプトを共有する。
- ていねいに地域対話を行うことが必要と考える。
 - (仮称)常磐地区交流拠点施設整備検討会をはじめ、機械をとらえ、地域や利用者団体などとの対話を重ねていく。
- 街が一番よくなるための施設と土地の配置の検討が必要と考える。
 - 共同店舗などとの連携が取れるよう検討を進める。
- 開放的な広場と感じるには、建物のつながりを含めた広場作りの検討が必要と考える。
 - 上記検討を進め、施設づくり・広場づくりの考え方を要求水準書へ反映していく。
- JR管理用通路と広場の一体性を持ったデザインについての検討が必要と考える。
 - 広場空間の設えについて、JR管理用通路などとの一体性を考慮して検討する。
- 実施予定のサウンディングに際しては、まちづくりビジョンブックや温浴のあり方を提示するなど、進め方に留意することが必要と考える。
 - まちづくりビジョンブックを踏まえてサウンディングを実施する。



3-2 作戦会議からの提案への対応状況



(1) その他の取り組みについての提案

- **フラのアーカイブを活かしたコンテンツの導入に向けて、検討・調整が必要と考える。** *観光振興課
 - 駅前へのフラアーカイブを活用したコンテンツの導入については、観光誘客・収益確保といった観点から有効であると考えられることから、運営のあり方、導入内容など、各種団体と検討調整を進める。
- **観光アクティビティ実現のための地元や行政の座組の構築の検討が必要と考える。** *観光振興課
 - 本市における観光アクティビティについては、現在も観光ビューローサイトなどで情報発信に努めているところであるが、一層の充実・周知に向けて、地元や行政との連絡調整体制について、検討していく。
- **3ヶ所の温浴施設を一体で考え、整備を進めるような仕組みの検討が必要と考える。** *都市計画課
 - 御幸山公園の民間収益施設については、都市公園法の設置管理許可制度を活用するものであり、交流拠点施設の手法と同時は困難。交流拠点施設の公募時期と合わせることで、同時期に提案が可能となるよう検討する。
支所跡地の活用に向けては、事業の進め方について、庁内検討を進める。
- **街全体のサイン計画の検討が必要と考える。** *都市計画課
 - 街全体のサイン計画を実施することについて検討する。



4 作戦

4-1 公共空間整備に関するレビュー [3件]

- (1) 常磐地区先導的基盤整備概略検討の検討内容について
[いわき市都市計画課]
- (2) 湯本駅周辺土地区画整理事業基本設計の検討内容について
[いわき市都市整備課]
- (3) 都市計画道路 白鳥藤原線予備設計の検討内容について
[福島県いわき建設事務所道路課]

4-2 必要な取り組みに関する意見交換

